

# aiwa

CDラジオカセットレコーダー

## **aiwa audio -G SPU1**

**GAA4-SPU0001**

ユーザーマニュアル

# aiwa

CDラジオカセットレコーダー

## aiwa audio -G SPU1

### ご使用前に

本製品を正しくご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや困ったことがあったときにお役立てください。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

※当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。

※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

※本書記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

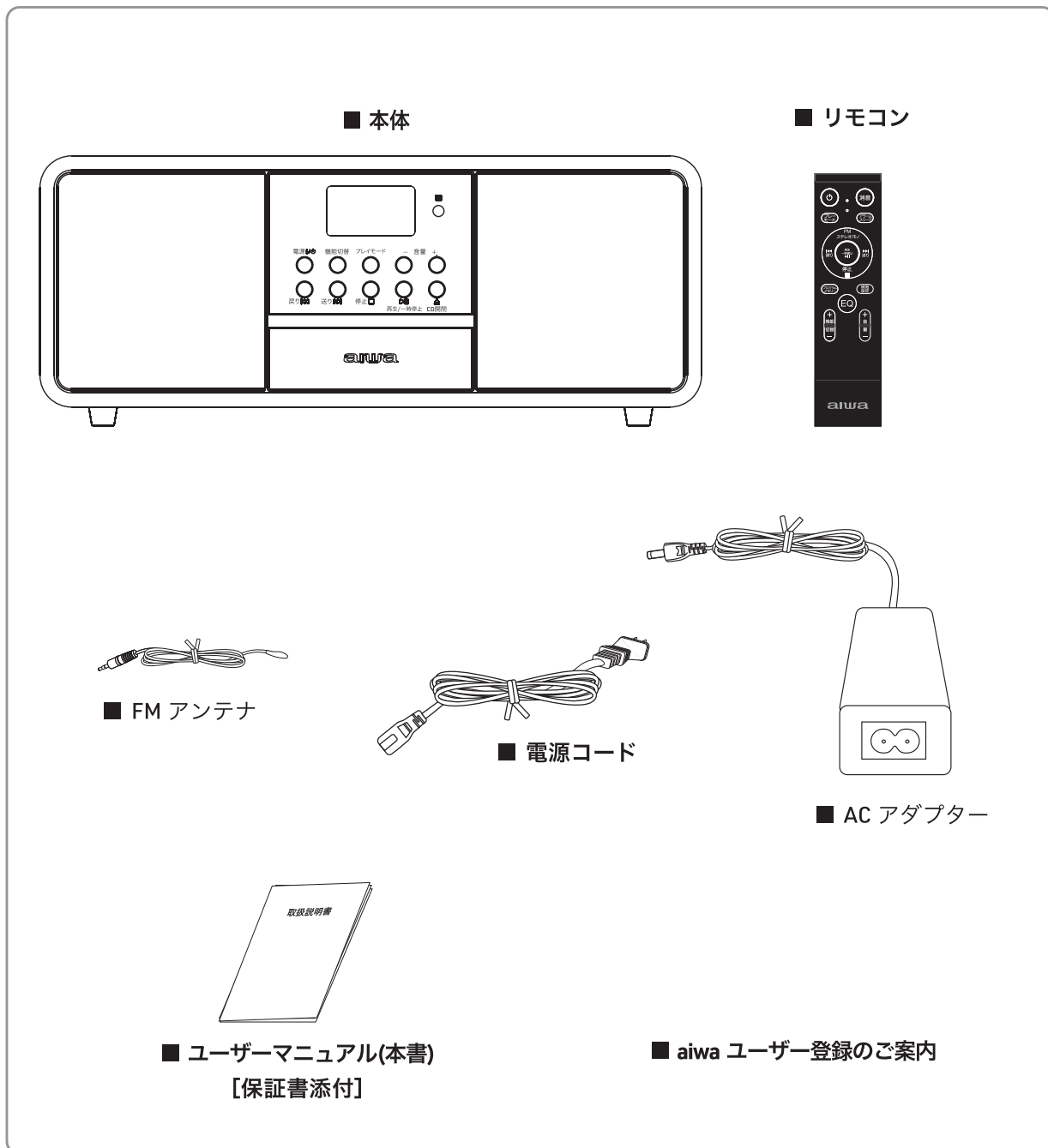
ご使用の前に . . . . .	P1	時計機能の使い方 . . . . .	P14
目次 . . . . .	P2	イヤホンの使い方 . . . . .	P14
はじめに セット内容 . . . . .	P3	イコライザーの使い方 . . . . .	P15
安全上のご注意 . . . . .	P4-6	ミュート（消音機能） . . . . .	P15
電波法 電気通信事業法 に関するご注意 . . . . .	P7	製品仕様 . . . . .	P16
電波障害に関するご注意 . . . . .	P7	故障かな？と思ったら . . . . .	P17
廃棄について（リサイクル） . . . . .	P7	アフターサービスについて . . . . .	P18
お手入れに関して . . . . .	P7	保証書 . . . . .	P18
結露（つゆ付き）に関して . . . . .	P7		
CD の取り扱いに関するご注意 . . . . .	P8		
ラジオの受信状態に関するご注意 . . . . .	P8		
各部の名称 . . . . .	P9		
リモコン各部の名称 . . . . .	P9		
本体の設置について . . . . .	P10		
ご使用の準備 . . . . .	P10		
ラジオの使い方 . . . . .	P10		
CD の使い方 . . . . .	P11		
USB の使い方 . . . . .	P12		
Bluetooth の使い方 . . . . .	P13		
外部入力（AUX）の使い方 . . . . .	P13		

# はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

## セット内容

本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。  
※イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。



# ■安全上のご注意

お使いになる前にならぬお読みください。

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。
- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

 禁止 禁止 (してはいけないこと)	 水ぬれ 禁止 水がかかる場所で 使用したり、水にぬ らしたりしてはいけ ないこと	 ぬれ手 禁止 ぬれた手でさわらな いこと
 分解禁止 分解しないこと	 指示 指示を守ること (必ずしなければな らないこと)	 電源プラグ を抜く 電源プラグを 抜くこと

## 警告



### 指示

- 下記の問題が発生した場合は、ただちに電源コードを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
  - ・使用中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
  - ・本製品内部に水や異物が入った場合
  - ・本製品を落とした場合
  - ・本製品が破損した場合
- コードが傷んだり、異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、電源コードを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。



### 禁止

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因となります。
- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理ができません。
- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。



### 分解禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。



### ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



### 水ぬれ禁止

- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。

## 注意



### 禁止

- 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、車の社内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります、特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなる場合があります。その場合は離れた場所でご使用ください。
- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池をリモコンから抜いてください。乾電池の液漏れが思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。
- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。
- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。



### ぬれ手 禁止

- 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。



### 指示

- 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですとほこりが付着して火災や感電の原因となります。



### 電源プラグ を抜く

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合火災の原因となる場合があります。

## 電波法 電気通信事業法に関するご注意

改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、電波法および電気通信事業法に抵触しますので絶対に使用されないようにお願いいたします。

## 電波障害に関するご注意

- 本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビの近くで使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご注意ください。
  - ・本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。
  - ・ケーブルは付属のものを使用してください。

## 廃棄について(リサイクル)

- パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出をしてください。識別マークは外箱に表示されています。

## お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

## 結露 (つゆ付き) に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
  - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
  - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
  - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
  - ・湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2~3時間程度室温で放置し付着した水滴がとれるまでお待ちください。



## CDの取り扱いに関するご注意

- 本機で使用可能なディスクは右のマークのある市販のCDもしくはCD-R/RWです。CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BDは使用できません。



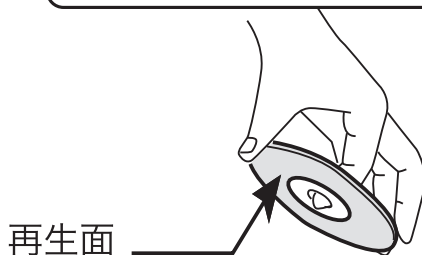
- コピーガード付きCD(CCCD等)は再生できない場合があります。

### ディスクの取り扱いについて

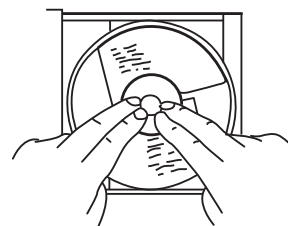
ケースから取り出すときはホルダーを押さえ、再生面に触れないよう取出します



再生面には手を触れないでください。



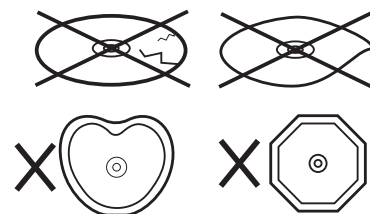
印刷面を上にも真ん中を押さえてしまいます。



- ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクは危険ですので使用しないでください。

- 再生面・印刷面にテープやふせんを貼らないでください。

- ハート型や八角形などの特殊形状ディスクやラベルなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因になります。

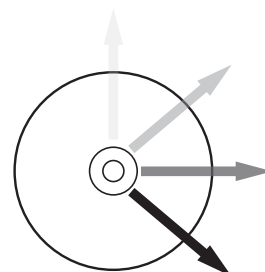


### ディスクのお手入れについて

- シンナーやベンジン、レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める恐れがあります。

- CDを拭く時には柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。

- CDを拭く時には中心から外側に放射状にまっすぐ拭いてください。CDは同心円状の傷に弱く再生できなくなる場合があります。



※少しずつずらしながら放射状に全体を拭く

## ラジオの受信状態に関するご注意

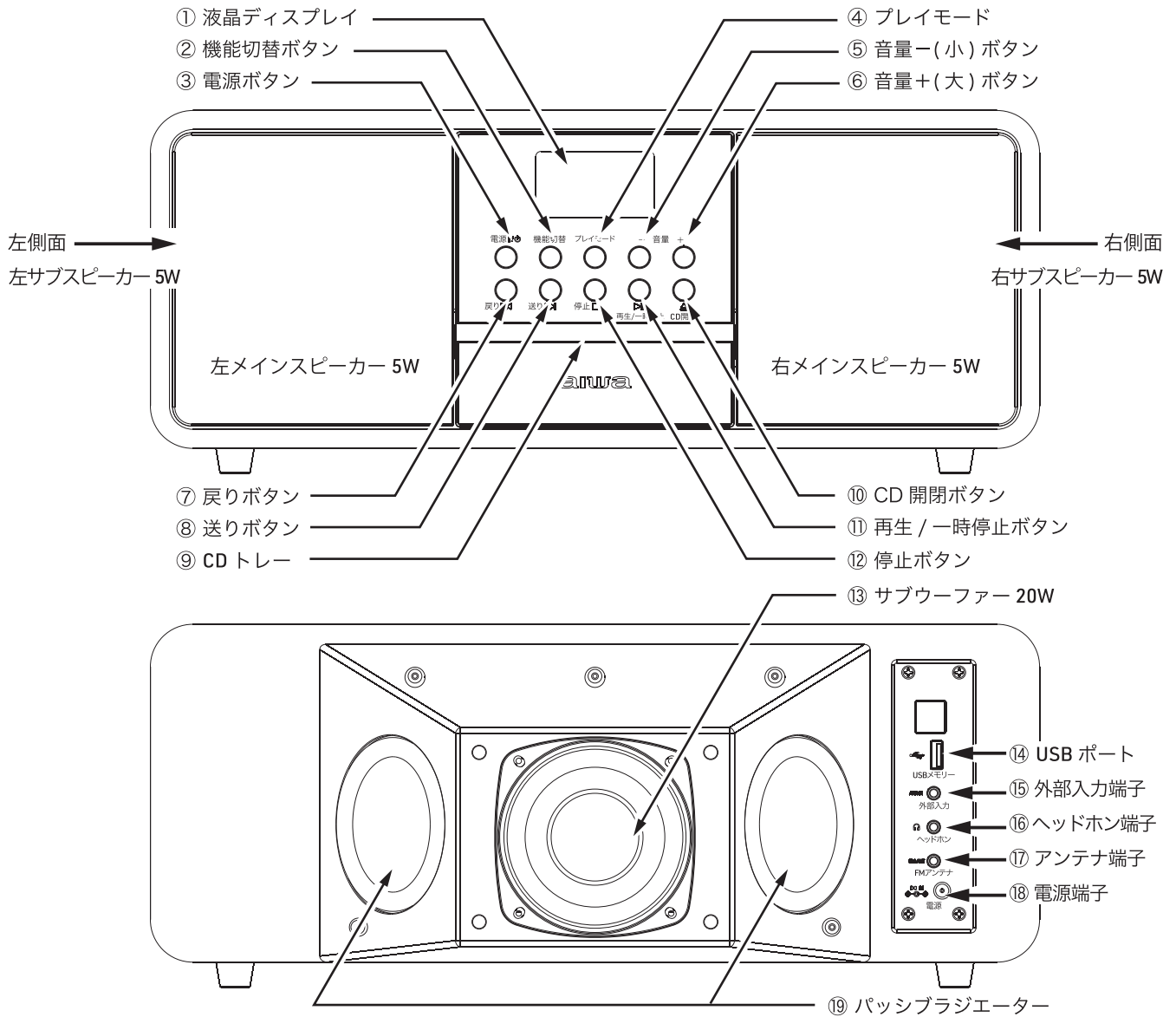
- ラジオは受信する場所によっては弱電界や建物等の死角となり受信できない場合があります。
- 本機のFMラジオは本体背面のアンテナコードで受信します。アンテナコードの向きを変えることにより受信状態が改善する場合がございます。
- 本機にAMラジオの受信機能はありません。AMラジオは将来的に停波の予定もあり、今後はFM電波でラジオを受信するワイドFMが主流になります。本機のワイドFM機能での受信をお試し下さい。

各地域の対応放送局は新聞または総務省のホームページでご確認下さい。

総務省トップ > 政策 > 情報通信 (ICT 政策) > 放送政策の推進 > ワイド FM > 全国民放 FM 局・ワイド FM 局一覧

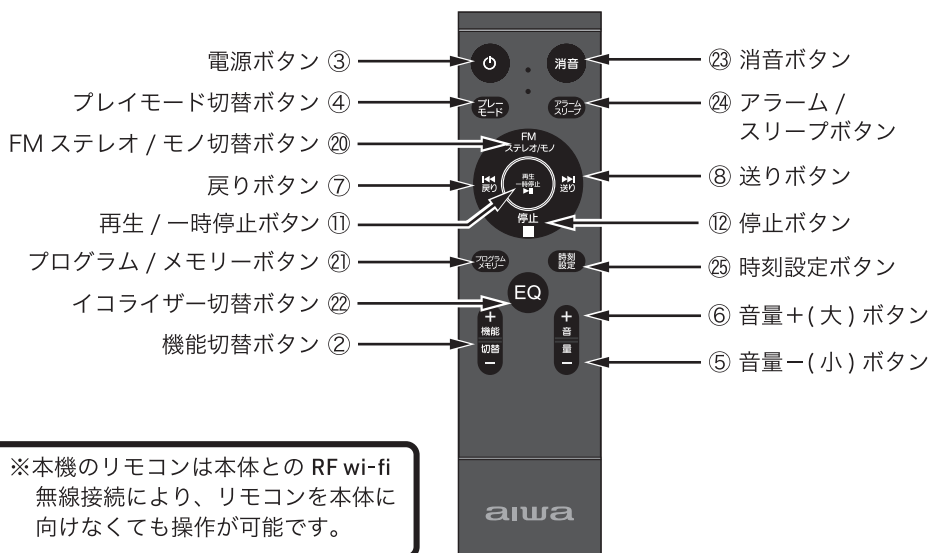
[https://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ictseisaku/housou\\_suishin/fm-list.html](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/fm-list.html)

# 各部の名称



# リモコン各部の名称

○数字は本体ボタンと共通です

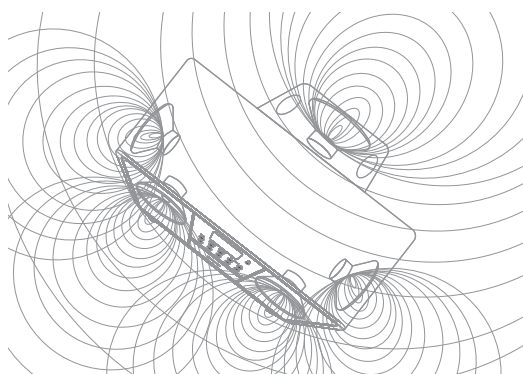


※リモコンの接続が切れ操作できなくなった場合は、以下の手順で本体と再接続してください。

1. 本体の電源を入れ、いずれかの機能モードのままにします。
2. リモコンの[ ③ 電源ボタン ]と [ ㉒ イコライザーボタン ]を同時に押し続け、リモコン上部のランプがゆっくり点滅したらボタンから手を放します。
3. リモコン上部のランプが短時間速く点滅してから消灯します。以上で再接続は完了です。

※本機のリモコンは本体との RF wi-fi 無線接続により、リモコンを本体に向けなくても操作が可能です。

## 本体の設置について

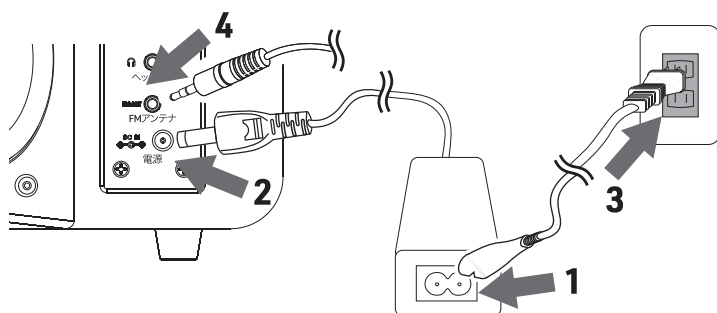


本機の特徴的な機能として5スピーカーを搭載しており、左右側面のサブスピーカー、本体背面のサブウーファーによりワイドで臨場感あふれる再生が可能です。

十分な性能を発揮するためには左右のサブスピーカーや背面のサブウーファーを塞ぐことがないように、壁などから最低でも15cm程度の空間を確保してください。

**【ご注意】** 本体背面のサブウーファーユニットの[13 サブウーファー]及び[19 パッシブラジエーター]は非常に繊細です。設置や移動の際に誤って指で押すと破けて正常に再生できなくなり、保証修理の対象外となりますのでご注意ください。

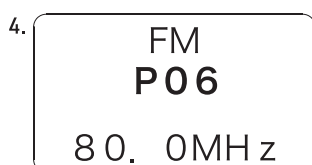
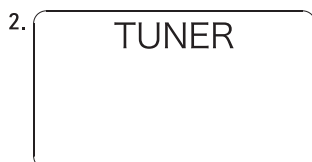
## ご使用の準備



1. ACアダプターと電源コードを接続します。
2. 本体にACアダプター先端のプラグを挿し込みます。
3. 電源コード先端のプラグを電源コンセントに挿し込みます。
4. 付属のFMアンテナコードを解き、先端のプラグを[17 アンテナ端子]に挿し込みます。

## ラジオの使い方

※ご使用前に「ご使用の準備」をご覧ください。付属のFMアンテナコードを本体に挿し込んでください。

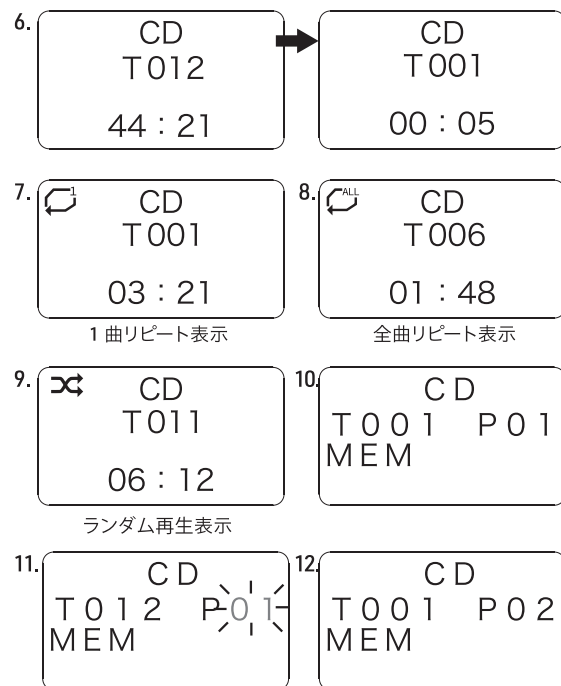
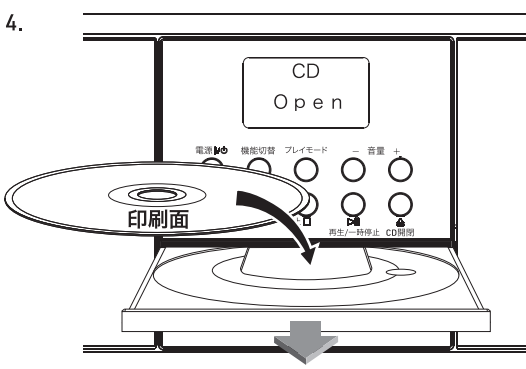
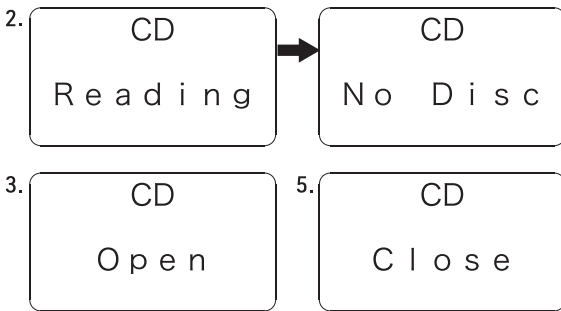


1. 本体またはリモコンの[3 電源ボタン]を押します。
2. 前回他の機能を使用していた場合は他の機能が起動しますので、本体またはリモコンの[2 機能切替ボタン]で「TUNER」表示に切り替えます。
3. 【本体のみ】FM受信の画面表示に切り替わり、スピーカーからラジオノイズが聴こえる状態になってから本体の[11 再生/一時停止ボタン]の長押しでオートサーチ及びプリセットの登録(最大20局)をおこないます。  
※オートサーチで受信するには正常受信が可能な電波強度が必要であり、電波強度が不十分な場合はプリセット登録されません。アンテナ向きの調整、手動のチューニング等を活用し手動でチューニングをおこなってください。
4. 【リモコンのみ】プリセット局の呼び出しはリモコンの[21 プログラム/メモリーボタン]を押し「P ●●」(プリセット局番号)を点滅させます。リモコンの[7 戻りボタン][8 送りボタン]を押して希望のプリセット局に表示を変えます。再度[21 プログラム/メモリーボタン]を押す、または10秒間操作をしないと「P ●●」の点滅が止まります。「P ●●」が点灯状態になれば選局完了です。
5. ラジオ聴取中に本体またはリモコンの[7 戻りボタン][8 送りボタン]を押すことでメモリー選局が解除され手動で周波数を変える事が可能です。また本体操作のみ[7 戻りボタン][8 送りボタン]を長押しすることで、次に受信可能なラジオ局までサーチすることが可能です。

# CDの使い方

本機では音楽 CD(CD-DA)のほか CD-R/RW に格納された MP3、WAV ファイルを再生することができます。

※CD、CD-R/RW の再生時はタイトルは表示されません。



1. 本体またはリモコンの [ ③ 電源ボタン ] を押します。
2. 前回他の機能を使用していた場合は他の機能が起動しますので、本体またはリモコンの [ ②機能切替ボタン ] で「CD」表示に切り替えます。「Reading」が点滅し「No Disc」が表示されます。  
※CD が挿入されている場合は曲数と時間が表示され自動で1曲目が再生されます。
3. CD をセット、または入れ替える場合は本体 [ ⑩ CD 開閉ボタン ] を押し、CD トレーを開きます。「Open 表示」
4. 文字や写真が印刷されている「印刷面」を上、何も印刷されていない記録面を下にして CD トレーのくぼみにセットします。
5. [ ⑩ CD 開閉ボタン ] を押し CD トレーを閉じます。「Close 表示」
6. 曲数と収録時間が表示され、自動で再生が開始します。  
「T001 00 : 01 … 00 : 02 … 00 : 03」表示 (再生時間アップ)

## 便利な機能

### ○ リピート機能

CD の収録曲を 1 曲または全曲リピート再生することが可能です。

7. 1 曲リピート … CD の再生中または停止中に本体またはリモコンの [ ④ プレイモードボタン ] を 1 度押し マークを表示させます。1 曲リピート設定中に [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] を押した場合は前のトラックまたは次のトラックに移動します。
8. 全曲リピート … CD の再生中または停止中に本体またはリモコンの [ ④ プレイモードボタン ] を 2 度押し マークを表示させます。収録曲が順に再生され、最終トラック終了後に 1 曲目から繰り返し再生されます。

※ リピート機能を解除するにはリピートマークが消えるまで [ ④ プレイモードボタン ] を複数回押し解除します。

### ○ ランダム機能

CD の収録曲を順不同に再生することが可能です。

9. CD の再生中または停止中に本体またはリモコンの [ ④ プレイモードボタン ] を数回押し マークを表示させます。ランダム再生中に [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] を押した場合は順不同にトラックが変わります。

※ ランダム機能を解除するにはランダムマークが消えるまで [ ④ プレイモードボタン ] を複数回押し解除します。

○ プログラム機能 CD の収録曲を 20 曲までプログラムして再生することが可能です。

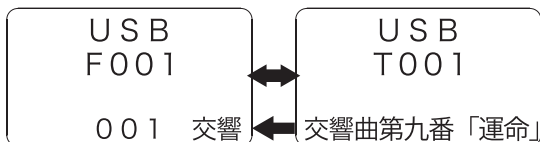
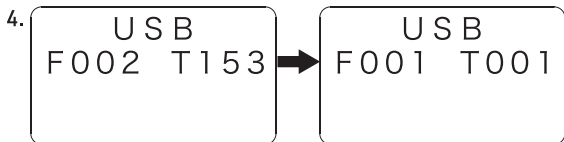
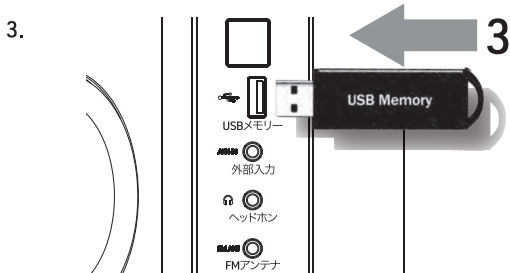
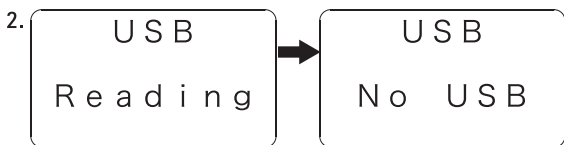
10. 【リモコンのみ】 CD の停止中にリモコンの [ ⑫ プログラム / メモリーボタン ] を押しプログラム画面を表示表示させます。
11. プログラム画面の上段右「P01」(プログラムナンバー)の 01 部分が点滅している間にプログラム画面の上段左「T001」(CD のトラックナンバー)の 001 部分を [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] で切り替え、登録したいトラックナンバーを呼び出し最後に [ ⑫ プログラム / メモリーボタン ] を押します。
12. プログラム画面の上段右、プログラムナンバーが「P02」に変わります。11. の操作を繰り返すことで最大 20 曲までプログラムが可能です。プログラムの操作が完了したら [ ⑪ 再生 / 一時停止ボタン ] を押して再生します。

※ プログラム機能を解除するには本体またはリモコンの [ ⑫ 停止ボタン ] を押して解除します。

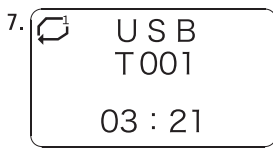
# USB の使い方

本機では USB メモリーに格納された MP3、WAV ファイルを再生することができます。

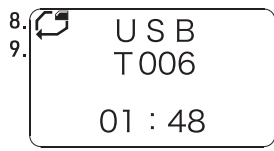
※MP3、WAV ファイルに曲名などファイル名が登録されている場合はディスプレイにタイトルが表示されます。



フォルダー番号とトラック NO が交互に表示され曲名は右から左へスクロール表示されます。



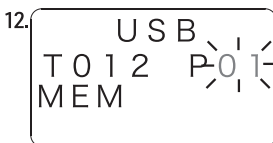
1 曲リピート表示



8. フォルダ  
9. 全曲リピート表示



ランダム再生表示



1. 本体またはリモコンの [ ③ 電源ボタン ] を押します。
2. 前回の機能を使用していた場合は他の機能が起動しますので、本体またはリモコンの [ ②機能切替ボタン ] で「USB」表示に切り替えます。「Reading」が点滅し「No USB」が表示されます。  
※USB が挿入されている場合はフォルダー数とトラック数が表示され自動で 1 曲目が再生されます。
3. USB をセット、または入れ替える場合は本体背面 ⑭USB ポートに USB メモリーを挿し込んでください。
4. 音楽データの MP3、WAV が格納されている場合はフォルダー数「F002」等とトラック数「T153」等が表示され、自動的に 1 曲目が再生されます。  
※上段「F001」⇄「T001」を繰り返し表示。下段「ファイル名 (曲名)」の表示。
5. 音楽の再生中に [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] を押すとトラックの移動、長押しをすることでサーチ送り・戻りが可能です。[ ⑪ 再生一時停止ボタン ] を押す度に一時停止と再生が繰り返されます。[ ⑫ 停止ボタン ] を押すと再生を完全停止します。

## 便利な機能

### ○ リピート機能

USB の収録曲を 1 曲または全曲リピート再生することが可能です。

- 7.1 曲リピート … USB の再生中または停止中に本体またはリモコンの [ ④プレイモードボタン ] を 1 度押し マークを表示させます。1 曲リピート設定中に [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] を押した場合は前のトラックまたは次のトラックに移動します。
8. フォルダリピート … USB の再生中または停止中に本体またはリモコンの [ ④プレイモードボタン ] を 2 度押し マークを表示させます。表示されているトラックが格納されたフォルダ内をリピート再生します。
9. 全曲リピート … USB の再生中または停止中に本体またはリモコンの [ ④プレイモードボタン ] を 2 度押し マークを表示させます。収録曲が順に再生され、最終トラック終了後に 1 曲目から繰り返し再生されます。  
※ 解除するにはリピートマークが消えるまで [ ④ プレイモードボタン ] を複数回押し解除します。

### ○ ランダム機能

USB の収録曲を順不同に再生することが可能です。

10. USB の再生中または停止中に本体またはリモコンの [ ④ プレイモードボタン ] を数回押し マークを表示させます。ランダム再生中に [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] を押した場合は順不同にトラックが変わります。  
※ 解除するにはランダムマークが消えるまで [ ④ プレイモードボタン ] を複数回押し解除します。

○ プログラム機能 USB の収録曲を 20 曲までプログラムして再生することが可能です。

11. 【リモコンのみ】 USB の停止中にリモコンの [ ⑫ プログラム / メモリーボタン ] を押しプログラム画面を表示表示させます。
12. プログラム画面の上段右「P01」（プログラムナンバー）の 01 部分が点滅している間にプログラム画面の上段左「T001」（USB のトラックナンバー）の 001 部分を [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] で切り替え、登録したいトラックナンバーを呼び出し最後に [ ⑫ プログラム / メモリーボタン ] を押します。
13. プログラム画面の上段右、プログラムナンバーが「P02」に変わります。11. の操作を繰り返すことで最大 20 曲までプログラムが可能です。プログラムの操作が完了したら [ ⑪ 再生 / 一時停止ボタン ] を押して再生します。

※ プログラム機能を解除するには本体またはリモコンの [ ⑫ 停止ボタン ] を押して解除します。

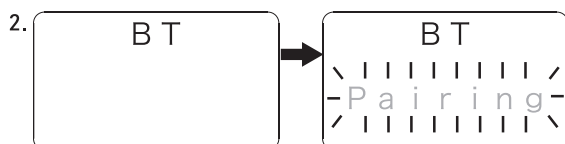


# Bluetooth の使い方

本機ではスマートフォンやタブレットなど、Bluetooth 送信可能な機器を接続し、再生音を本機で再生することができます。また AVRCP プロファイルにより本機及び本機リモコンから接続機器を操作することができます。

※Bluetooth 接続における再生及び操作は全ての動作保証をするものではありません。お使いの機器の OS、アプリ、Bluetooth のバージョンによっては正しく作動しない場合があります。

**【準備】 Bluetooth 通信は受信、送信で 1:1 の接続が原則です。お手持ちの機器がすでに他の機器とペアリングされている状態では本機との接続はできません。お手持ちの再生機器の設定画面等で他の機器とのペアリングを解除してからご使用ください。**

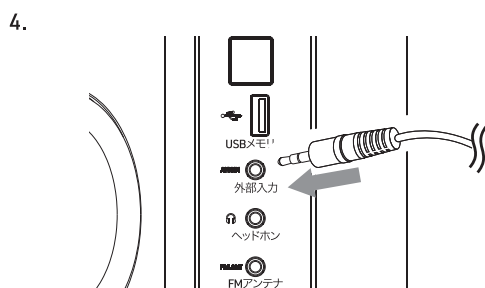
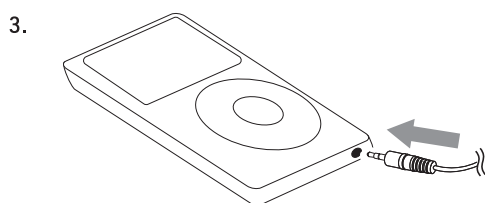


1. 本体またはリモコンの [ ③ 電源ボタン ] を押します。
2. 前回他の機能を使用していた場合は他の機能が起動しますので、本体またはリモコンの [ ②機能切替ボタン ] で「BT」表示に切り替えます。「Pairing」が点滅しペアリングモードになります。  
※すでにペアリング済で接続機器に本機のデバイス情報が残っている場合は自動で接続され接続確認音が鳴ります。
3. スマートフォンなど接続機器の Bluetooth 設定画面で「その他のデバイス」や「接続機器一覧」のなかにある [ GAA4-SPU0001 ] を選択し接続します。  
※スマートフォンやタブレットなど、接続機器の詳細な操作方法は各機器の説明書等でご確認ください。

4. 信号音が流れ「Connect」と表示されれば接続完了です。接続が出来ない場合は接続機器が他の Bluetooth 機器とペアリングしている可能性が高いため、他の Bluetooth 機器とのペアリングを解除してください。
5. スマートフォンやタブレットなどの音楽再生アプリ等で音楽を再生します。再生後は本機またはリモコンの [ ⑦ 戻りボタン ] [ ⑧ 送りボタン ] [ ⑩ 再生 / 一時停止ボタン ] で各操作が可能です。
6. 使用を止めるには本機を他の機能に切り替える、本機の電源を切る、または接続機器側で本機の接続を解除してください。  
※スマートフォンやタブレットなど、接続機器の詳細な操作方法は各機器の説明書等でご確認ください。

# 外部入力 (AUX) の使い方

本機では旧型のミュージックプレーヤーなど、Bluetooth 送信機能がない機器を有線で接続し、再生音を本機で鳴らすことができます。



1. 本体またはリモコンの [ ③ 電源ボタン ] を押します。
2. 前回他の機能を使用していた場合は他の機能が起動しますので、本体またはリモコンの [ ②機能切替ボタン ] で「AUX」表示に切り替えます。
3. 別売りのオーディオケーブル 3.5mm ステレオミニジャックの一端をお手持ちのミュージックプレーヤーなどに接続します。その際ミュージックプレーヤーの音量は小さくしてください。  
**【ご注意】** お手持ちのミュージックプレーヤーの音量が大きいままだと本機の電源を入れた際に大音量で再生されスピーカーを傷める可能性があり、その場合は保証対象となりませんので十分ご注意ください。
4. オーディオケーブル 3.5mm ステレオミニジャックのもう一端を本機背面の [ ⑮ 外部入力端子 ] に挿し込んでください。
5. ミュージックプレーヤーなどを再生し徐々に音量を上げて調節を行ってください。

## 時計機能の使い方

1. 本体またはリモコンの [ ③ 電源ボタン ] を押しスタンバイモード（電源がオフ、時計が表示された状態）にします。
2. リモコンの [ ②⑤ 時刻設定ボタン ] を長押しして時計表示の「時間」部分を点滅させ、[ ⑦ 戻りボタン ][ ⑧ 送りボタン ] で時間を合わせます。
3. リモコンの [ ②⑤ 時刻設定ボタン ] を押しと時間が記録され「分」が点滅します。[ ⑦ 戻りボタン ][ ⑧ 送りボタン ] で分を合わせます。
4. リモコンの [ ②⑤ 時刻設定ボタン ] を押し、設定を完了します。

## 便利な機能



### ○ スリープ機能

睡眠時など、一定時間再生後に自動で電源が切れるスリープ再生が可能です。

5. 音源の再生中にリモコンの [ ②④ アラーム / スリープボタン ] を押しとディスプレイに「Sleep90」と表示されます。ボタンを押すごとに 75...60...45...30...20...10...OFF と再生時間が変わりますので鳴らしたい時間で止めます。
6. 鳴らしたい時間を表示させた状態でそのまま操作をせずに待つと押しとディスプレイに「Zzz」マークボタンが表示され設定完了します。[ ②④ アラーム / スリープボタン ] を押し「Zzz」マークが消えると解除されます。

### ○ アラーム機能

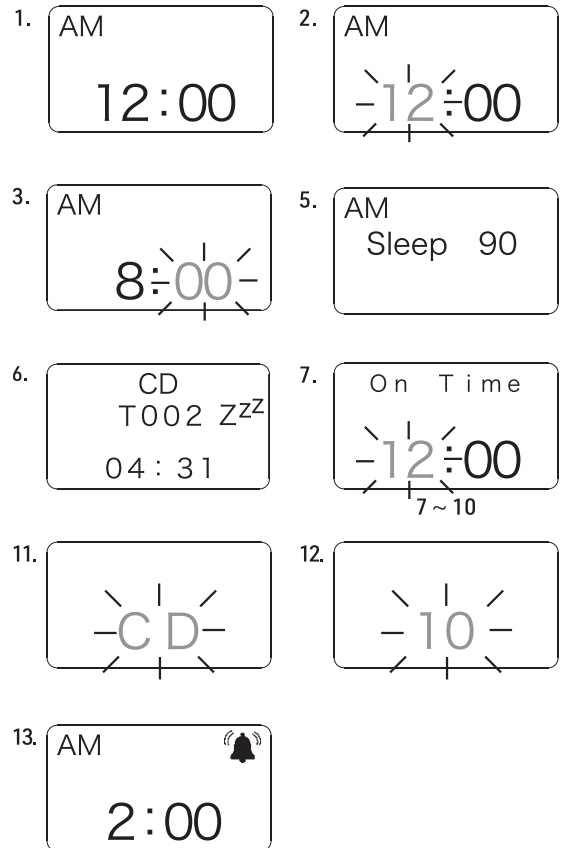
目覚まし時計代わりに設定した時間に音楽を再生することが可能です。

7. 本体またはリモコンの [ ③ 電源ボタン ] を押しスタンバイモード（電源がオフ、時計が表示された状態）にします。
8. リモコンの [ ②④ アラーム / スリープボタン ] を長押ししてディスプレイに「On Time 12:00」と表示させます。（時間部分が点滅）
9. リモコンの [ ⑦ 戻りボタン ][ ⑧ 送りボタン ] で時間を合わせ [ ②④ アラーム / スリープボタン ] を押しします。（分部分が点滅）
10. リモコンの [ ⑦ 戻りボタン ][ ⑧ 送りボタン ] で分を合わせ [ ②④ アラーム / スリープボタン ] を押しします。（Off Time 12:00 が表示）操作 8.-10. を繰り返し電源オフの時間を設定します。
11. リモコンの [ ⑦ 戻りボタン ][ ⑧ 送りボタン ] で鳴らしたい音源を選択し [ ②④ アラーム / スリープボタン ] を押しして確定します。
12. リモコンの [ ⑦ 戻りボタン ][ ⑧ 送りボタン ] で鳴らしたい音量を選択し [ ②④ アラーム / スリープボタン ] を押しして設定完了します。
13. 上記 12. の設定完了後、リモコンの [ ②④ アラーム / スリープボタン ] を押しして  を表示させ、アラーム機能を起動します。アラーム機能を解除するには同ボタンを押し  を消せば解除されます。

※10. アラームモードで再生中に [ ③ 電源ボタン ] で任意に再生を止めることも可能です。

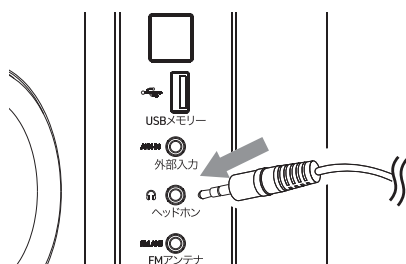
※11. 一定時間音源を選択しなかった場合、自動的に FM ラジオが設定されます。

※11. 自動設定を含め FM ラジオが設定された場合は最後に聴取したラジオ局が設定されます。



## イヤホンの使い方

本機では 3.5mm ステレオミニジャックのイヤホン、ヘッドホンを接続し使用することが可能です。

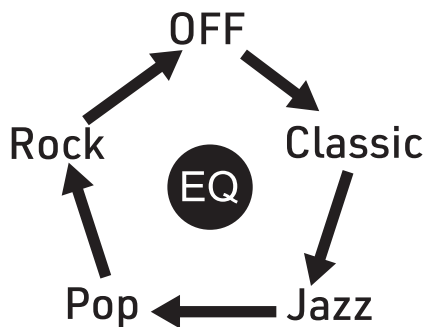


1. 本体背面の [ ⑩ ヘッドホン端子 ] にイヤホン、ヘッドホンのプラグを挿し込みます。  
※サイズが合わないプラグのもの、モノラルプラグやリモコン機能のある 4 極タイプのプラグのイヤホン、ヘッドホンは接続しても正しく再生音が出ない場合がありますのでご注意ください。
2. [ ⑩ ヘッドホン端子 ] にイヤホン、ヘッドホンを接続した場合、本体のスピーカーから音は出なくなります。

## イコライザーの使い方

本機では各機能を再生中に音楽のジャンルに合った5種類の音質を選択し楽しむことができます。

1. 各機能を再生中、または停止中にリモコンの [ ㉔ イコライザー切替ボタン ] を押すたびに以下の順番で効果が切替ります。



- ・ OFF … イコライザーによる音質調整のないナチュラルな音質です。
- ・ Classic … 中音域を抑え、全体の高音・低音ともにバランスの取れた音質です。
- ・ Jazz … 中音域を抑え、更に低音・高音の抜けを重視した落ち着いた音質です。
- ・ Pop … 中音域を強調し、伴奏に埋もれないヴォーカルが楽しめる音質です。
- ・ Rock … 低音域を強調し、迫力の重低音が楽しめる音質です。

※再生する音楽の音質バランスによってはイコライザーに強調されることで音割れや雑音が発生する場合があります。音量やイコライザーの種類を変えて調整してください。

※外部機器を接続する場合に、外部機器側でイコライザーが適用された状態ではイコライザー効果が二重になり音割れや雑音が発生します。本機のイコライザーを使用する場合は外部機器のイコライザーを切る、外部機器側のイコライザーを使用する場合は本機のイコライザー機能を OFF で再生してください。

※もともと重低音が強い音楽に対して、更に Bass を選択すると重低音が強調され過ぎ音割れや雑音が激しく発生し、状況によってはスピーカーを傷める場合があります。その場合保証の対象となりませんので十分にご注意ください。

## ミュート（消音機能）

本機は各機能を再生中にリモコンの [ ㉕ 消音ボタン ] を押すことで一時的に再生音を 0 にすることが可能です。

1. 各機能の再生中にリモコンの [ ㉕ 消音ボタン ] を押し一時的に音量を 0 にします。
2. ミュートを解除するにはミュート中にリモコンの [ ㉕ 消音ボタン ] を押すことで、元の音量に戻ります。



## 製品仕様

本体サイズ	約幅 42.0 × 奥行 31.5 × 高さ 15.9 cm
本体重量	約 5.78 kg
本体材質	木材 /ABS 樹脂 他
電源	AC 100V 50/60Hz DC 17V / 3.5 A
消費電力	28 W
スピーカー出力 合計 40 W	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ フロントメインスピーカー 5 W × 2</li> <li>■ サイドサブスピーカー 5 W × 2</li> <li>■ パッシブラジエーター付きサブウーファー 20 W</li> </ul>
出力端子	3.5mm ステレオジャックイヤホン端子
入力端子	3.5mm ステレオジャック外部入力端子
CD	Audio CD ( CDDA ) CD-R/RW : MP3, WMA, WAV (ビットレート : 48 - 192 kbps)
ラジオ	FM (ワイド FM 対応) PLL デジタルチューナー オートサーチプリセット (最大 20 局)
Bluetooth	Version 5.3 ( A2DP , AVRCP Profile )
USB	ディスク容量 : 32GB まで推奨 対応フォーマット : FAT16 , FAT32 対応ファイル形式 : MP3 , WAV (ビットレート : 48 - 192 kbps)

## 故障かな？と思ったら

操作ができない、音が出ないなど、故障かなと思ったら先ず下記項目をご確認ください。

電源が入らない	ACアダプターは正しく接続されていますか。
音が出ない	本体背面にイヤホンがつながれていませんか。
リモコンが反応しない	電池を交換してください。 P9 を参照しリモコンを再接続してください。
CD が再生できない	機能は CD に切り替わっていますか。 CD の上下（表裏）が逆になっていませんか。 CD の記録面（下）にキズやホコリ、指紋が付いていませんか。
ラジオが受信できない	付属の FM アンテナケーブルは本体背面に挿し込まれていますか。 ご使用場所は鉄筋の建物ですか。周辺は山などに囲まれた山間部では ありませんか。ご使用の周辺環境により受信ができない場合もあります。 詳しくは P8 「ラジオの受信状態に関するご注意」をご覧ください。
Bluetooth が接続できない	お手持ちの接続機器が他の Bluetooth 機器と接続されていませんか。 他の接続機器が本機と接続されていませんか。 詳しくは P13 及びスマートフォン、タブレットなど接続機器の取扱説明 書をご確認ください。
USB が認識されない・再生できない	本機での USB ご使用に関する推奨条件は 32GB までです。32GB を 超えるものについては動作保証外となります。 USB 内のフォルダ階層、データ形式によっては認識・再生出来ない 場合があります。 本機では MP3 及び WAV ファイルの認識・再生が可能です。他のファ イル形式は認識されません。対応ビットレートは 48 - 192 kbps です。 本機でサポートされる USB フォーマットは FAT16 及び FAT32 です。 それ以外のフォーマットはサポート対象外です。

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

## サポートセンター

**TEL:0570-055-054** (ナビダイヤル 有料)

**FAX:048-997-2082** (有料)

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00 (土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス : [aiwa@tohshoh.jp](mailto:aiwa@tohshoh.jp)

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
  - サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
  - 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。
- ※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

### 〈販売元〉

株式会社とうしょう (aiwa 特約エージェント)

〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根 1442-1

**aiwa**